

新春・遠藤咲季子 お箏のしらべ

徳島北高校を経て、東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻を卒業。大学で学んだ生田流古典箏曲のほか、和楽器メタルバンド「KAGURAMUSO（神楽無双）」のメンバーである等、多様なジャンルの演奏をお届けします。

日時 1月12日祝 14:00開演（13:30開場）

場所 夢ホール（文化会館）

出演 木下萌花、名西高校箏曲部（箏、十七絃）

助演 大西晴一二（尺八）、多田英治（箏、三絃）

入場料（全席自由・税込）

前売り一般 2,000円（当日500円増し）

※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット販売

文化会館、情報文化センター、徳島新聞社事業部、平惣（徳島店・川内店・小松島店・阿南センター店）、GETTIIS（別途手数料がかかります）

問い合わせ 文化会館 ☎21-0808
(水曜休館)

阿波人形浄瑠璃芝居公演 中村園太夫座公演

阿波人形浄瑠璃は平成11年、国の重要無形文化財に指定されました。「中村園太夫座」は阿南市新野町に江戸時代末期より伝わり親しまれてきました。伝承の技芸は新野中学校民芸部など、若い人たちにも受け継がれています。郷土の誇り「阿波人形浄瑠璃」の舞台を夢ホールでお楽しみください。

日時 1月25日（日） 13:00開演

場所 夢ホール（文化会館）

演目 式三番叟

傾城阿波の鳴門（順礼歌の段）、

三十三所花の山 壺坂靈験記

（沢市内の段・山の段）

一谷嫩軍記（熊谷陣屋の段）

入場料 200円（小中高生無料）

※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット販売 平惣書店（阿南センター店）、文化会館、情報文化センター



問い合わせ 文化振興課 ☎22-1798

私は鳴門市で生まれ、16歳で阿南高専に進学し、寮生活を始めました。卒業後は日亜化学に入社し、気付けば阿南に暮らし31年、いつしか阿南は、私のとつて「第一のふるさと」になつていました。

離れた土地で暮らすことを決めたあの日、不安もありましたが：機械好きで、人と同じことをするのが嫌いな性分から、期待のほうが勝ついたことを覚えていました。

最近、そんな私の心を「なんだこれは！」と揺さぶったテレビ番組があります。NHKで放送された「タローマン」をご存じでしょうか。芸術家・岡本太郎の思想を70年代特撮風に描い



羽ノ浦町
田渕健太郎さん

ない内容になつてしまいましたが：「自分の価値観を持つて生きることは、嫌われても当たり前なんだ」そう岡本太郎も言っていた。と、タローマン構文で締めくらせていただきます。

次は桑野町の田村義和さんにお願いします。

マイナスに飛び込め



た作品で、シユールな面白さの裏に「マイナスに飛び込む」「なま身の自分に賭ける」といった太郎の言葉が響き、若き日の自分と重なつて胸を打たれました。

そして劇場版タローマン公開！徳島上映は1カ所のみでしたが、「何か理由をつけて自分の好きなものを諦める、そんな軟弱な精神をケンタローマンは許さない！」（笑）と即座に見に行き、テレビ版に増して癖を強めた世界観にどっぷり浸かつてしましました。